

コロナ禍を越えて 生きる

元 板橋区内中学校
社会科教諭
岩瀬暉一氏



74歳で始めた無農薬・有機野菜作りも、今年で8年目を迎える。車で5分ほどの所に畑を借りている。周辺は高麗川流域の農村地帯だったが、住宅も増え、未耕作の農地も少なくない。

私の畑への関心は、疎開先の母の実家のある福島県の山村での生活体験からきている。

1年目は、手強い雑草や木の根を手作業で掘り起こすことから始まった。見様見真似のにわか百姓の野菜作りには、失敗もあったが、上出来だった。2年目からは、落ち葉や腐朽した枯れ木を集めたり、刈り草や野菜屑で堆肥を作った。卵の殻やアサリ・シジミなどの貝殻を畑に撒き、天然の蛎殻石灰を使用している。肥料は、環境にやさしい有機肥料を作っているところから多くを取り寄せている。支柱や柵などにはできるだけ竹や枯れ枝を使っている。土に戻せるからだ。

無農薬の野菜作りは、虫と雑草との闘いでもある。せっかく育ったキャベツを青虫に丸坊主にされたり、芽を出したばかりの苗を喰われたりした。蒔いた種をカラスやムクドリに啄ばまれたり、収穫を前にアライグマや野ネズミにサツマイモを齧られたりもした。梅雨時などは、あつという間に雑草が伸びて、草取りに追われる。しかし、アブラムシが着くと、テントウムシが集まってきて退治してくれる。蜜蜂が飛んできて受粉の手助けをしてくれる。振り向くと、数メートル先に猪がいてびっくりしたこともある。防虫ネットで防護策を講じながらも、自然のサイクルに委ね、彼らと共生することになっている。水場



が遠いので、2ℓペットボトルで水を運び、ネットの押さえなどにも役立っている。野菜作りは、日照と雨量の多少によって収穫が大きく左右されるが、基本はお天気任せである。霜や低温、早や長雨で打撃を受けるが、雨乞いをしたりする百姓の気持ちが良く分かる。土起こしから収穫までの手作業は大変だが、すべてが興味深い。次々と新しい作物に挑戦しているうちに、100坪ほどに畑が広がった。収穫は何よりも楽しい。近所や知人・友人などに加えて、子ども食堂などにも送るようにしている。「野菜が甘い」「子供たちが喜んで食べる」などと言われると、嬉しくなる。あと何年やれるだろうか? (岩瀬暉一氏 寄稿文)

が遠いので、2ℓペットボトルで水を運び、ネットの押さえなどにも役立っている。野菜作りは、日照と雨量の多少によって収穫が大きく左右されるが、基本はお天気任せである。霜や低温、早や長雨で打撃を受けるが、雨乞いをしたりする百姓の気持ちが良く分かる。土起こしから収穫までの手作業は大変だが、すべてが興味深い。次々と新しい作物に挑戦しているうちに、100坪ほどに畑が広がった。収穫は何よりも楽しい。近所や知人・友人などに加えて、子ども食堂などにも送るようにしている。「野菜が甘い」「子供たちが喜んで食べる」などと言われると、嬉しくなる。あと何年やれるだろうか? (岩瀬暉一氏 寄稿文)

講演会のご案内 **主催** / NPO法人 センスオブアース

2021年3月21日(日) 13:30-16:00/板橋区エコポリスセンター視聴覚ホール

「フードロス」捨てる世界・日本、板橋は?

レポート提供—東京家政大学人文学部教育福祉学科 宮地ゼミ学生有志

講演 / 「各国の食品ロス対策・冷凍食品で新型コロナウイルスが輸入される?」 **食ジャーナリスト 小倉 正行 氏**

お申込 / FAX・電話とも 03-3960-6052

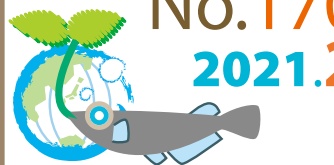
お名前・お電話番号・ご参加人数をご記入の上、基本FAXでお願いします
定員 / 40名~定員になり次第、締め切り (感染状況により、開催延期有り)

感染対策—マスク着用・入場時体温計測有・微熱の方は次回に・会場定員の半数で開催・窓開放

SOE NEWS

No.170

2021.2



センスオブアース
市民による自然共生
バンゲア

平成27年度地球温暖化防止活動
環境大臣表彰受賞団体

育てたワタから人形を作ろう 板橋区立こぶし保育園

4歳児12人◎1月19日 eeeeeee

春に植えた SOE 寄贈の大豆の苗がよく育ったのですが、ワタの方は育ちがむずかしかったようです。数が少なくても、ワタができたので、収穫祝の人形作りに挑戦しました。材料はクヌギのドングリと殻斗、載せる円筒形の筒、まく布、つける飾り、そして頭の髪の毛にする茶綿のワタ。4歳児さんでもこの作業を真剣にやっています。ほら、出来上がった人形を手し、男の子も



女の子も自慢げですね。



できた人形の名前～ドラエモン・みかちゃん・王子・バナナ・つばさちゃん・ビーなちゃん・桜ちゃん・ネズ子ちゃん・チョウジロー・ネコちゃん・ポンちゃん～でした。😊たのしかった 😊種とワタを分けるのが楽しかった 😊髪の毛を作るのが楽しかった 😊ボタンを作るのが楽しかった 😊もようを作るのが楽しかった

担任・大瀬戸 摩衣子 先生より／クイズもあり考えながら参加できてよかった。ボンドで髪の毛を付けるのがむずかしく、やり方を教えると自分でできて人形を作っていた。1テーブルに3人ずつ座り、少人数で行えたので、相談できたり集中して行うことができた。ワタの成長過程、実際に糸になり、洋服になる工程がわかりやすく学べてより親しみが感じられたと思う。

日にちを変えて、5歳児さんのお人形作り。1歳お兄さんお姉さんだと、作業への集中度もさらに上がり、自主的にテキパキ行動し、何より自分の作品への思いが高くなりました。

つけた名前～ドラゴンバースト・リボンちゃん・シルク・ナナキ・ナナちゃん・フナちゃん・ハートちゃん・レンボーちゃん・モモナちゃん・リククン・ヒャクテンバード・クマクン～

😊たのしかった 😊顔がむずかしかった 😊髪の毛、たのしかった 😊髪の毛大変だった 😊ベルトを付けるのが大変だった

担任・望月 沙紀 先生より／人形作りや映像など楽しんで取り組んでいる子が多かった。ねらいは達成できた。子どもたちは小学生向きかと思った内容に、集中して見たり、質問に答えている内容も小学生のような応答をしていて、いつも見られない子どもたちのすがたが見られた。フワフワちゃん、コロコロちゃんの紙芝居の映像では、集中して見ていて、ワタがどのようにできてどのように広がったのか、内容を理解していた。人形作りでは、みんな、髪型やどのような洋服にするか、工夫している子どもも多く、長い時間じっくり取り組んでいる子どもたちの姿が見られた。自然なことを学びながら、映像を見たり、作ったりし、楽しんで学べる事がわかって良かった。



風とながよし

板橋区立板橋第二小学校
1年生35人◎12月1日



☑つき山から北風にかざぐるまを向けたら、すごく回った。☑かざぐるまは走らなくても回ってふしぎだな。☑風はくもを動かしている。☑かざぐるまと風がおどっているみたいに見えた。☑もう一度やりたい。家でもやりたい。☑風は何でできるかふしぎ。☑風ってふしぎだけど、すごく楽しく遊べて、す

すごく楽しかった。☑風ってトラックを持ち上げるくらい力持ちだな。☑風車がビュービュー回りました。☑風はみんなの家に電気を送れるからすごい。☑風が来て遊べるおもちゃがいっぱいあったから、寒くても、楽しくて良かったしうれしかった。☑風はいろ



見て見て！ かざぐるまできたよ！



かんたんにできたよ、紙トンボはやくとばしたい

いろなものにいいことをしてくれるって気づいた。☑紙コプターを変な形に折っていたところにひみつが多分あるから、そのひみつをさがりたい。☑もし、風がなかったら、どうなるの。風はどうして強さが変わるの。☑天気が良くなくても、風で乾かすことができるのに気づきませんでした。☑洗たくするときに役に立つな。役にたつことがすごい。**担任・関 亨子 先生より**／風車や紙コプターという楽しいおもちゃを作って遊ぶ活動を通して、子どもたちは自然の「風」が持つ力について、じっくり考える良い機会になりました。普段は意識する事のない風について、遊びだけでなく、生活に役立っていることに気付くことができました。また、自然現象として、様々な風があることを知る事ができました。日本語には風についての言

作業に集中している1年生すごいですね



い方がたくさんあり、その言葉をこれからも教師が意識して使うことで、今日の学習をさらに深めていきたいと思えます。

SOE創作紙芝居「風の子フーのなみだ」の感想は「風の子フーがなかなかおりできてよかった～」



木の顔ってどんな顔

板橋区立板橋第二小学校
1年生34人◎12月21日



図工科専科の白波瀬真理先生と SOE が環境学習“木の顔”の協働授業を行いました。

SOE 創作紙芝居「森と子どものひみつ作戦」(木となかよしの子どもたちだけが、公園の木と話すことができる。木が切られる話になった時、ひみつの作戦を



実行した子どもと木たち…)を聞いた子どもたちは～☺木にも命があるなんて知らなかった。(15人ほど) ☹木がもどってきてよかった。☺子どもも大人ももどって楽しそうだった。☺木に聞いてから建物を建てればよかった。

みんなが作った木の顔の名前～リカ・ゴジラ・竹ちゃん・鼻水幽霊・骨皮骨夫くん・タカクンなど～

☑木に顔を付けるとかわいく思えた。☑いろいろな木に顔があったんだな。☑木にも命があるとわかった。☑木が凹凸しているのがびっくり。☑木はつつるするのあれば、ざらざらするのもある。☑木に気持ちがあるとは思いませんでした。自分では



た時たのしかった！☑木と友達になれる事は知らなかった。☑木に顔を付けたら本当にしゃべるのかと思った。☑木をいっぱい見つけられた。☑木の形によって顔が合うのやおもしろいのもあって楽しかった。

図工・白波瀬 真理 先生より「みんな、木となかよしになりました。木と友達になれましたか？」みんな「は～い!!」でした。

紙芝居「森と子どものひみつ作戦」の読み聞かせ



木の顔、グループ発表



発行

特定非営利活動法人 センスオブアース・市民による自然共生パンゲア

東京事務所 東京都板橋区前野町4-8-6 (〒174-0063) phone: 03-3960-6052 fax: 03-3960-6052
e-mail: info@npo-soe.jp url: npo-soe.jp